

## 研究活動 Research Activities

飯塚 隆 / Takashi IIZUKA

### 〔展覧会〕

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」(2016年7月9日-9月19日) カタログ翻訳・編集補佐

「クラナハ展 — 500年後の誘惑」(2016年10月15日-2017年1月15日) サブ担当、カタログ編集補佐

「ミケランジェロと理想の身体」(2018年6月19日-9月24日) 企画準備

### 〔著作〕

橋場弦、村田奈々子編『学問としてのオリンピック』山川出版社、2016年(共著)

### 〔講演〕

「黄金の輝き—美の創造の場」日本ギリシャ協会主催講演会、東京藝術大学、2016年7月30日

「リアルなギリシャ美術—創造と想像のキャッチボール」古代ギリシャ展特別講演会、神戸市博物館、2017年3月5日

### 〔その他〕

橋本コレクションの収蔵・管理および作品撮影

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

### 〔論文等〕

「ロンドンに残された松方コレクション：パンテクニカン倉庫保管作品をめぐる資料調査報告」『国立西洋美術館研究紀要』21号、pp. 5-17

ビルギト・ヨース著、川口雅子・楯石もも子共訳「講演記録 ドイツにおけるアート・アーカイヴ：その概要」『アート・ドキュメンテーション研究』24号、pp. 59-69

### 〔講演・普及活動等〕

ゲスト講師：「美術館で情報専門職が果たす役割とは？」獨協大学全学総合講座「芸術と社会—芸術が社会の中で果たす役割について」2016年5月19日

### 〔調査・研究〕

科学研究費基盤研究(B)「在外松方コレクション資料の学術調査と美術品来歴研究」(研究分担者)

『松方コレクション 西洋美術全作品』編集(2018年刊行予定、平凡社)

平成28年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館データベース」(研究代表)

### 〔取材協力〕

「情報発信力に乏しい国立の博物館や美術館—情報発信充実は文化力表す」『東京新聞』2016年6月6日、24-25面

「幻の松方コレクション判明—ロンドン焼失分 英にリスト」『読売新聞』2016年9月5日夕刊、1面

「夢は海を越えて『松方コレクション展』を前に—(7) 研究者たち

収集品全容解明へ前進」『神戸新聞』2016年9月8日

### 〔その他〕

国立美術館「データベース作成と公開に関するワーキング・グループ」検討委員

全国美術館会議情報・資料研究部会幹事

文化庁「著作物等のアーカイブ化の促進のための関係意見聴取会」協力

国際図書館連盟(IFLA) 美術図書館分科会常任委員

アート・ドキュメンテーション学会幹事長補佐

東京藝術大学非常勤講師

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

### 〔講演等〕

「カラヴァッジョ展の見どころ」カラヴァッジョ展特別講演会、イタリア文化会館アネッリホール、2016年4月2日

「ルネサンスを超えた男、カラヴァッジョ—生涯と作品、その影響」日本工業倶楽部美術講演会、日本工業倶楽部、2016年4月5日；イタリア研究会例会、東京文化会館会議室、2016年4月6日；ワールド航空サービス知求アカデミー講座(日比谷)、2016年4月15日；展覧会自治体講演会、調布市文化会館たづくりくすのきホール、2016年4月18日；同友クラブ美術鑑賞会、国立西洋美術館、2016年4月19日；展覧会自治体講演会、大田区民プラザ 大ホール、2016年4月22日；立教大学講義「美術の中のキリスト教」(武井美砂講師)、2016年5月20日；ソフィア美学芸術学研究会総会、上智大学オールソフィアンフェスティバル、2016年5月29日

「カラヴァッジョとスペイン—近年の研究動向」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会2016年度総会および研究会、上智大学、2016年4月17日

「展覧会の見かた〜カラヴァッジョ展を例に」成城大学文芸学部芸術学・美術史実習(喜多崎親講師)、2016年4月22日

「展覧会の見せかた〜カラヴァッジョ展を例に」上智大学学芸員課程博物館実習(佐々木英夫・内川隆志講師)、国立西洋美術館(来館)、2016年5月12日

「ローマとナポリにおけるカラヴァッジョの継承者たち〜ジュゼペ・デリペーラを中心に」カラヴァッジョ展記念講演会、国立西洋美術館、2016年5月14日

### 〔その他〕

在外研究(スペイン、マドリード、プラド美術館)、2016年10月29日-2017年4月8日

上智大学大学院文学研究科非常勤講師(文化交渉学専攻)

スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会運営委員

美術館・博物館の次世代照明基準に関する研究調査委員会委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

〔展覧会〕

「クラーナハ展—500年後の誘惑」2016年10月15日–2017年1月15日

〔執筆〕

共編著書：

『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ（ガイド・メスリングとの共同責任編集）、TBS テレビ、2016年10月

共著書：

『ドイツ・ルネサンスの挑戦—デューラーとクラーナハ』（田辺幹之助監修、岩谷秋美共著）東京美術、2016年10月（執筆担当頁：pp. 12, 16, 96–117, 118–133）

論文／エッセイ：

「別なる場所、ここにいてなお—グローバルアート時代の『悪い場所』で」東浩紀編『ゲンロン3』2016年7月、pp. 108–127

「閉ざされた円環の重力—グスタフ・クリムトの総合芸術作品をめぐる」池田祐子編『ウィーン 総合芸術に宿る夢（西洋近代の都市と芸術4）』竹林舎、2016年8月、pp. 349–378

「クラーナハ、その誘惑のアナクロニー」『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、TBS テレビ、2016年10月、pp. 242–254

その他：

「世界美術史の批評的地平」（黒瀬陽平共著）東浩紀編『ゲンロン3』2016年7月、pp. 166–168

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『ゼフェロス』No. 68、2016年8月、pp. 1–2

作品解説および章解説『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、2016年10月、pp. 80–81, 83, 86, 104–106, 109, 130, 133–134, 147–149, 160, 174–180, 183, 207, 210–213, 220–221

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『美術の窓』2016年10月号、生活の友社

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『うえの』2016年10月号、上野のれん会、pp. 21–23

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『Nile's Nile』2016年10月号、ナイルルコミュニケーションズ、pp. 40–43

「記憶の重みを背負うひとびと」映画「グレート・ミュージアム」パンフレット、ドマ、2016年10月

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『文化庁広報誌 ふんかる』(web)文化庁、2016年11月

「時代の欲望を量産せよ！ クラーナハの芸術力と人間力」『芸術新潮』2016年11月号、pp. 30–63

「安藤裕美」（あなたの知らないニューカマー・アーティスト100）『美術手帖』2016年12月号、p. 384

「早すぎた関係性の美学？あるいは協働幻想のなかで」（シャルロッテ・ボゼネンスケ展レビュー）『美術手帖』2017年1月号、pp. 166–167

翻訳：

クレイグ・オーウェンス「アレゴリー的衝動—ポストモダニズムの理論に向けて：第1部（後）」東浩紀編『ゲンロン2』2016年4月、pp. 258–267 / 同「アレゴリー的衝動—ポストモダニズムの理論に向けて：第2部」『ゲンロン3』2016年7月、pp. 270–293（監修：中野勉）

作品解説『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、pp. 36–38, 54, 62, 76, 84, 88, 136, 150, 154, 170, 184, 202, 204, 228, 236–238

〔普及活動等〕

講演／レクチャー等：

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」（芸術新潮 Presents 学芸員に聞く ダリとクラーナハ、その魅力のすべて）新潮講座神楽坂教室、2016年11月2日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」（先生のための鑑賞プログラム）国立西洋美術館講堂、2016年11月4日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」日本興業倶楽部、2016年11月16日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」（MMM レクチャー）DNP 銀座ビル、2016年11月18日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」（知求アカデミー）ワールド日比谷サロン、2016年11月22日

対談（鷹野隆大氏と）「鷹野隆大『距離と時間』オープニング・トーク」NADiff a/p/a/r/t、2016年11月26日

対談（ヴィヴィアン佐藤氏と）「映画『グレート・ミュージアム』上映後トーク」ヒューマントラストシネマ有楽町、2016年11月27日

講演「クラーナハ展について」（かすみがせき婦人会）国立西洋美術館講堂、2016年11月30日

講演「誘惑は時を超えて—クラーナハと〈女のちから〉」国立西洋美術館講堂、2016年12月10日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」（千葉大学学部生向け）国立西洋美術館講堂、2017年1月6日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」（猫町倶楽部東京藝術部）TKP 上野ビジネスセンター、2017年1月8日

対談（園子温氏と）「女のちから、イメージのちから—美術館と映画館で出会う、表現者の『ちから』」（青山ブックスクール）青山ブックセンター本店、2017年1月12日

ゲスト講義「ゲンロン カオス＊ラウンジ 新芸術校 上級コース」ゲンロン カオス＊ラウンジ 五反田アトリエ、2017年1月14日

メディア対応：

「細部に宿る美 クラーナハの画業をたどる」『日本経済新聞』電子版映像美術館、2016年10月19日配信

「映画『グレート・ミュージアム』について」AbemaTV、2016年11月16日放送

ぶらぶら美術・博物館「ドイツ・ルネサンスの巨匠『クラーナハ展』～世界遺産で体感！500年の時空を超える“誘惑”とエロス～」BS日テレ、2016年12月2日放送

日曜美術館「謎のヌード クラーナハの誘惑」NHK・E テレ、2016年12月11日放送

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

〔展覧会〕

「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」（2017年2月28日–5月28日開催）企画構成

〔執筆〕

『シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才』カタログ編集、エッセイ・作品解説執筆、エッセイ・作品解説翻訳

「グーピル社の1世紀」『西洋美術研究』19号、2016年、pp. 127–139

「座談会 美術市場と画商」「美術市場と画商 資料 文献リストと解題＋画商関連情報」共著、『西洋美術研究』19号、2016年9月、pp. 8–38, 215–229

『西洋美術の歴史 7巻 19世紀 近代美術の誕生、ロマン派から印象派へ』共著、中央公論新社、2017年2月

〔普及活動等〕

「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」レクチャー、朝日カルチャーセンター、2017年3月31日

「シャセリオー展 19世紀フランス・ロマン主義の異才」東京・春・音楽祭レクチャー、国立西洋美術館講堂、2017年3月28日

「シャセリオー展 19世紀フランス・ロマン主義の異才 先生のためのレクチャー」国立西洋美術館講堂、2017年3月31日

〔調査・研究〕

科学研究費基盤研究 (A) 「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」(研究分担者)

科学研究費基盤研究 (B) 「在外松方コレクション資料の学術調査と美術品来歴研究」(研究分担者)

『松方コレクション 西洋美術全作品』編集 (第1巻2018年刊行予定、平凡社)

〔賞〕

フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章

寺島洋子 / Yoko TERASHIMA

〔教育普及活動〕

ボランティア・プログラム

スクール・プログラム

ファミリープログラム

平成28年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2016年8月1-2日、東京国立近代美術館/国立新美術館

Fun with Collection 2016 「ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう」

〔口頭発表等〕

「世界遺産・国立西洋美術館と建築家ル・コルビュジエ」台東区区民講座、台東区総務部、2017年2月12日

〔論文・雑誌・報告書等〕

「ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう」『新美術新聞』美術年鑑社、2016年7月21日

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」『公明新聞』公明党機関紙委員会、2016年7月27日

「ル・コルビュジエが夢見た〈無限成長美術館〉」『kotoba』集英社、2016年12月6日

「鑑賞する能力を育てることの重要性」『初等教育資料』2017年2月号、No. 949、文部科学省MEXT64、pp. 76-77

〔調査・研究〕

日本における博物館教育の歴史

科学研究費基盤研究 (B) 「美術館の所蔵作品を活用した探求的な鑑賞教育プログラムの開発」(研究分担者) 平成28年度-30年度 オランダの美術館における教育活動調査、2016年9月21-30日

〔その他〕

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2016年4月-2017年3月  
放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2016年4月2日-9月28日  
美濃加茂市民ミュージアム専門委員、2015年4月1日-2017年3月31日

中田明日佳 / Asuka NAKADA

〔展覧会〕

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」(2016年7月9日-9月19日) 企画構成

「平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神): まなざしの先の女性たち」(2017年4月22日-7月2日) 準備

〔執筆〕

『聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画』カタログ編集/エッセイ・作品解説・章解説執筆/エッセイ翻訳

「ヤン・ファン・ケッセル(父) およびエラスムス・クウェリヌス作《アジア》(ミュンヘン、アルテ・ピナコテーク) にみるアジア表象の特徴とアジアへのまなざし」、幸福輝編『17世紀オランダ美術の東洋表象研究』(学術振興会科学研究費基盤研究 (A) 報告書) 国立西洋美術館、2017年、pp. 51-58

〔普及〕

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」展関連講演「俗なるもの—メッケネムと世俗主題版画」国立西洋美術館講堂、2016年8月27日

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」展スライドトーク、国立西洋美術館講堂、2016年7月15日、8月12日、9月9日  
「メッケネム展 先生のための鑑賞プログラム」国立西洋美術館講堂、2016年7月29日

「ブリューゲルとバロックの巨匠 ルーベンス、レンブラント、ベラスケス、光と影の天才たち」展関連講演「ブリューゲル作品とフランドル絵画の魅力」岡崎市美術博物館、2016年10月23日

〔調査・研究〕

学術振興会科学研究費基盤研究 (A) 「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(連携協力者)

袴田紘代 / Hiroyo HAKAMATA

〔展覧会〕

小企画展「モーリス・ドニの素描—紙に残されたインスピレーションの軌跡」2016年10月15日-2017年1月15日

企画展(副担当)「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」2017年2月28日-5月28日

巡回展準備(副担当)「平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神): まなざしの先の女性たち」2017年4月22日-7月2日、福島県立美術館; 2017年7月15日-9月18日、秋田県立近代美術館

企画展準備「北斎とジャポニスム」2017年10月21日-2018年1月28日

〔執筆〕

「若手研究者よりの報告: 演劇と美術の交差点としての挿絵入りプログラム」『日仏演劇協会会報』復刊6号、2016年6月、pp. 15-17

「国立西洋美術館所蔵 モーリス・ドニの素描目録」『国立西洋美術館研究紀要』21号、2017年3月、pp. 35-56

「小企画展『モーリス・ドニの素描—紙に残されたインスピレーションの軌跡』『ゼフェロス』No. 69、2016年11月、p. 3

〔トークイベント〕

若手研究者トークイベント「演劇と美術の交差点—象徴主義からベケットまで」日仏演劇協会主催、室伏鴻アーカイブカフェ Shy、2017年2月11日(宮脇永吏氏、堀切克洋氏と)



フライデー・ナイト・ミュージアム @ 上野「美術体験のデザイン」文化庁他主催、国立西洋美術館、2017年3月17日（ロバート・キャンベル氏、林曉甫氏と）

[メディア対応]

東京MXTV「アートステージ」2016年5月21日放送（出演）

東京新聞「カジュアル美術館」2016年7月17日掲載（取材協力）

邊牟木尚美 / Naomi HEMUKI

[保存修復活動]

所蔵作品の保存修復作業、日常的メンテナンス

所蔵作品の貸出に伴う保存修復関連業務

所蔵作品の保存修復活動の調整・運営

所蔵作品の保存修復関連情報の整理

寄託作品収蔵のための実務作業全般（写真撮影、状態調査票作成、状態調査・記録、軽微な埃払い、梱包資材の交換と再梱包）

巡回展準備作業（出展候補作品の状態調査・記録、出品可否の判断、修復計画立案、修復作業にかかる場所の調整、資機材調達、修復作業準備・片づけ、絵画および彫刻の保存修復作業、クレーン仕様様の決定と指示、巡回展開催館の学芸員との打ち合わせおよび展示場所・方法の指示、作品点検調査書の作成、搬出入時の作品点検）  
保存修復専門家養成にかかる協力（保存修復施設見学の受入対応など）

保存修復関連施設・資機材管理

絵画の技法材料研究に関する東京藝術大学との共同研究の実施

[調査・研究活動]

金属文化財の保存修復に関する世界的動向調査（国際博物館会議 保存修復グループ 金属文化財ワーキンググループ トリエンナーレ会議参加）、インド、ニューデリー、2016年9月21日-10月3日

[学会発表]

文化財保存修復学会第38回大会研究発表（ポスター発表）『高徳院国宝銅造阿弥陀如来坐像の状態調査および表面クリーニング』  
邊牟木尚美（国立西洋美術館）・及川崇（おいかわ美術修復）・小林芳妃（彫刻・立体作品保存修復）・伊藤一洋（山岸鋳金工房）・渡辺真樹子（東京文化財研究所）・鈴木恵梨子（川崎市市民ミュージアム）・森井順之（東京文化財研究所）・早川典子（東京文化財研究所）・佐藤孝雄（高徳院）、東海大学湘南キャンパス、2016年6月26日

[その他]

「平成27年度 国庫補助事業 国宝銅造阿弥陀如来坐像保存修理事業 保存修理業務（クリーニングおよび状態調査）」調査データ分析・整理作業

帝京大学理工学部非常勤講師

愛知県立芸術大学「材料学B（金属）」2016年10月27日

村上博哉 / Hiroya MURAKAMI

[展覧会企画]

「スケーエン：デンマークの芸術家村」2017年2月10日-5月28日、国立西洋美術館新館2階展示室

[論文・執筆]

（書評）「大高保二郎古希記念論文選 スペイン 美の貌」『図書新聞』3254号、2016年5月7日

「松方コレクションと国立西洋美術館」『松方コレクション展——松方幸次郎 夢の軌跡』カタログ、神戸市立博物館、2016年9月、pp. 208-214

「展覧会の趣旨と謝辞」『スケーエン：デンマークの芸術家村』展カタログ、国立西洋美術館、2017年2月、pp. 29-32

[講演]

「松方コレクションと国立西洋美術館」神戸市立博物館、2016年11月5日

[その他]

日本芸術文化振興会美術専門委員会委員

国立文化財機構文化遺産防災ネットワーク有識者会議委員

宮城県美術館協議会委員

東京都美術館外部評価委員会委員

愛知県美術館美術品収集委員会委員

鹿島美術財団推薦委嘱者

横山佐紀 / Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

講演会運営

先生のための鑑賞プログラム実施

作品リスト（和英）

団体向けオリエンテーション

会場作品解説パネル（メッケネム展・クラナハ展・シャセリオー展）

会場用作品解説パネル拡大文字版制作（カラヴァッジョ展）

障がい者のための特別鑑賞会（カラヴァッジョ展）

[常設展教育普及活動]

障害者受け入れのプログラム研究・実施（武蔵野東小学校、都立文京盲学校、都立八王子盲学校）

盲学校の教員を対象とする研修（平成28年度全国盲学校図工・美術研究会、国立西洋美術館講堂、2016年8月25日）

[世界遺産関連本館建築教育普及活動]

建築探検マップ改訂版制作

本館建築オーディオガイド制作

[外部資金]

科学研究費基盤研究（C）「10年後の被災都市におけるミュージアムの教育プログラム——ニューオリンズを事例に」（研究代表、課題番号：15K01154）

[海外調査研究]

ニューオリンズ：ルイジアナ子ども博物館、ルイジアナ州博物館／ニューヨーク：ナショナル・911メモリアル&ミュージアム、2016年4月1-10日

科学研究費基盤研究 (C)「10年後の被災都市におけるミュージアムの教育プログラム——ニューオリンズを事例に」(研究代表、課題番号:15K01154)として

[美術館を活用した教員研修等]

平成28年度都中美夏季研修会「美術と社会～つながり・広がり・生成～」グループワーク・ファシリテーター、東京国立近代美術館、2016年7月25日

平成28年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修(主催:独立行政法人国立美術館、共催:文部科学省)、グループワーク・ファシリテーター(東京国立近代美術館、2016年8月1日)、運営スタッフ(国立新美術館、8月2日)

[論文・報告書等]

ワークショップコメント:「美術館からみる『みんなつ』で教室と世界をつなごう!」上羽陽子・中牧弘ちか・中山京子・藤原孝章・森茂兵雄編、国立民族学博物館調査報告138『学校と博物館でつくる国際理解教育のワークショップ』国立民族学博物館、2016年、pp. 89-90

書評:『「世界認識の方法」としてのリアリズム——小林剛『アメリカン・リアリズムの系譜——トマス・エイキンズからハイパーリアリズムまで』表象文化論学会『表象』10、2016年4月15日、pp. 318-321

図書紹介:田中正之・横山佐紀・小林剛・瀧井直子・江崎聡子『創られる歴史、発見される風景 アート・国家・ミソロジー (アメリカ美術叢書)』(ありな書房、2016年1月)、表象文化論学会学会ニュース「REPRE」27、2016年6月

[教育活動]

立教大学非常勤講師

国立民族学博物館共同研究員

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[著作]

『MASTERPIECES: The National Museum of Western Art, Tokyo』作品解説執筆、2016年

『ティツィアーノとヴェネツィア派展』(東京都美術館、2017年)カタログ作品解説2点 (nos. 41, P-3)

[雑誌記事]

「ラファエロの換骨奪胎戦略と、伝統の構築」『美術の窓』8月号、2016年8月、pp. 10-15

「2015年度収蔵作品について」『ゼフュロス』No. 69、2016年11月、pp. 1-2

[翻訳]

アメリカ版画評議会編『紙本作品貸出のためのガイドライン 2015年デジタル版』共訳、国立西洋美術館、2016年

『ティツィアーノとヴェネツィア派展』(東京都美術館、2017年)カタログ作品解説3点

[口頭発表]

「The National Museum of Western Art, Tokyo—Collection and Exhibitions」中央文化管理幹部学院(北京)、2016年7月19日(英語による発表)

[講演]

「国立西洋美術館の活動と課題」日本女子大学、2016年5月14日

「国立西洋美術館のコレクション史——松方コレクションから国立西洋美術館の誕生、そして現在に至るまで」青山ブックススクール、2016年8月6日

「ルネサンスの空間描写と物語表現」国立西洋美術館ボランティアスタッフ養成研修、2016年9月20日

[国際会議参加]

International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XVth Convention、プラド美術館(マドリード)、2016年5月29日-6月1日

The 10th 10+3 Workshop on Cooperation for Cultural Human Resource Development、北京・寧波、2016年7月17-27日

[その他]

Sir Denis Mahon Essay Prize (イギリス) 審査員